

三鷹市立高山小学校 令和5年度【 算数 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>◎自力解決時間を設け、自分の考えを書く時間を確保した。必ず友達に自分の考えを伝える時間を設定したことで、考えを広げることができた。</p> <p>◎具体物を使って操作しながら考える場面を設定した。特に長さ、かさの単位では、水を小さなコップに分けて比べたり、広さを身近なトランプなどの同じ大きさのもので比べたりすることにより、数値化することのよさを体感することができた。</p> <p>◎週に2回eライブラリによる宿題を設定することで、自分の回答が正しいかを即座に分かるようにした。また、誤答だった場合は解説を読むよう指導したことで、同じ間違いをしないよう意識させることができた。</p>	<p>◎1から10までの概念形成のためにブロックを活用した。いくつといくつに分かれるか繰り返しブロックで確認することで、数の概念理解を深めることができた。</p> <p>◎数を正しく書くことが困難な児童が各クラス数名いる。</p> <p>◎足し算、引き算の学習は、繰り返しやることで定着した児童が多かったが、具体物を用いないと正しく計算することがまだ難しい児童もいる。</p> <p>◎文章問題では、足し算引き算どちらの問題なのか正しく判断できていない児童や、単位を付け忘れたり正しく付けられなかった児童が多く見られた。</p> <p>◎週に2回eライブラリによる宿題を出したが、やってこない児童や、間違えても正しい答えの求め方をきちんと確認しない児童が多く見られた。</p>	<p>◎宿題やプリント等で数字を書く活動を設定し、正しい形の整った数字が書けるようにする。書き順や字形についても繰り返し指導する。</p> <p>◎引き続き、ブロック等の具体物を使って操作しながら考える場面をつくり、数と数字とのつながりについて理解を深める。</p> <p>◎文章問題では、「あわせて」や「のこりは」など、演算決定をする際のキーワードに線を引くよう指導し、正しく演算決定ができるようにする。単位についても丸で囲むよう指導し、答えに正しく単位を付けることができるようにする。</p> <p>◎週に2回eライブラリによる宿題を設定し、誤答だった場合は解説を読むよう指導することで、同じ間違いをしないようにさせる。また、やってきていない児童については、休み時間を使ったり、次の日にやらせたりすることで、確実に児童全員が取り組むようにする。</p>
第2学年	<p>◎文章題において必要な情報に線を引いたり、場面を線分図などに表したりして具体的なイメージをもって立式できるようにした。</p> <p>◎文章題と一緒に読ませたり、似た練習問題を繰り返し解かせたりするなどして最後まで正確に読めるようになった。</p> <p>◎繰り返し計算練習をすることで、計算力を身に付けることができた。</p> <p>◎算数で使う言葉や表現を指導したり、考えを交流したりする場面を多く設定し、自分の考えを正確に伝えられるようになってきた。</p>	<p>◎問題場面を具体的にイメージできないために立式できない児童が一定数いる。</p> <p>◎文章問題が苦手な傾向がある。</p> <p>◎時刻と時間の学習の定着が不十分である。</p> <p>◎筆算が正確にできるようになってきた。</p> <p>◎集中して計算できる時間が増えてきた。</p> <p>◎自分の考えや計算の仕方を説明できるようになってきた。</p>	<p>◎必要な情報に線を引いたり、場面を図に表したりして具体的なイメージをもって立式できるようにする。</p> <p>◎文章を最後まで正確に読めるように授業の中で一緒に読んだり、似た練習問題を繰り返し解かせたりするなどして文章題に慣れるようにする。</p> <p>◎自分の考えを正確に伝えられるように算数で使う言葉や表現を指導したり、考えを交流したりする場面を多く設定する。</p>
第3学年	<p>◎理解度に応じて自立解決に必要な例(図、式、言葉)を、黒板に書いたりして、繰り返し指導したりしていくことができた。</p> <p>◎読み取るための課題を明示するなどして、授業のねらいを把握させ、自分の考えを深めたり広げたりするための対話的な学習を意図的に導入することができた。</p> <p>◎ドリル・タブレットを定期的に活用しながら、基礎的・基本的な学力の定着を図ることができた。</p> <p>◎習熟度によるグループ分けやタブレットを活用して、個人差に考慮した指導を行うことができた。</p>	<p>◎計算して答えを求めることはできるが、理由や根拠を説明できない児童がいる。</p> <p>◎図や文などを利用して、自分の考えを書けるようになってきた。</p> <p>◎習熟度に差があるため、算数が苦手な児童への個別指導等のフォローが十分に行えていない。</p> <p>◎クラス算数では、ペア学習、グループ学習活動の機会を多く取り入れている。</p> <p>◎自分の考えを伝える姿、相手の考えを受け取り、自分の考えを見直す場面が見られる。</p>	<p>◎習熟度別学習を取り入れることで、理解度に合わせた丁寧な指導をできるようにする。</p> <p>◎一斉指導の場面を減らし、互いの考えを交流する時間を多く確保すること。</p> <p>◎多様な課題解決方法を共有できるようにさせる。</p> <p>◎自分の考えを正確に伝えられるように算数で使う言葉や表現を指導したり、考えを交流したりする場面をできるだけ多く設定する。</p>
第4学年	<p>◎習熟度別少人数学習の中でも、既習事項の理解度や単元のめあての達成度を細かく見取り、学年の情報として共有した。</p> <p>◎授業中に扱った内容を振り返ることができるよう、計算ドリルを活用して習熟を図るとともに、家庭学習を習慣付けた。</p> <p>◎コンパスや分度器等の用具の正しい使い方を具体的に示し、作図の時間を設け習熟を図るようにした。</p> <p>◎一つの問題に対して多様な見方ができるよう、多くの児童が発表する機会を設けた。</p>	<p>◎教員の欠員により、少人数学習の実施ができないため、クラス算数で学習を実施している。習熟度に差があるため、算数が苦手な児童への個別指導等のフォローが十分に行えていない。</p> <p>◎クラス算数では、互いに教えあったり、考えを交流しあったりする機会を多く取り入れており、自分の考えを伝える姿、相手の考えを受け取るようになる姿が見られる。</p> <p>◎文章問題を読み取り、正しい式に表す力を身に付けさせる必要がある。</p> <p>◎正しく作図をする力を身に付けさせる必要がある。</p>	<p>◎習熟度別学習を取り入れることで、理解度に合わせた丁寧な指導をできるようにする。</p> <p>◎一斉指導の場面を減らし、互いの考えを交流する時間を多く確保すること。</p> <p>◎多様な課題解決方法を共有できるようにさせる。</p> <p>◎文章問題に取り組む際に、全体で内容を確認したり、解決方法を予想したりすることで、問題場面を具体的にイメージさせ、問題文に正対した式や答えを書き出せるようにする。</p> <p>◎教具の使い方や作図のポイントを具体的に示しながら、反復学習をさせることで、正しい作図の力を定着させる。</p>
第5学年	<p>◎課題を身近なものに置き換えて提示することで、自分の考えをもちやすくすることができた。</p> <p>◎一つの問題に対して、多様な考えを引き出すような問い直しをすることで、友達との考えを共有することができた。</p> <p>◎「単位量あたりの大きさ」について繰り返し指導し、習熟を図る必要がある。</p> <p>◎文章から正しく立式することに課題がある。</p>	<p>◎既習事項を基に、図や数直線などを用いて自分の考えを表現しようとする児童が増えてきた。</p> <p>◎小数の計算力(特にわり算)に個人差が大きい。</p> <p>◎単位量、単位の変換、概数などの習熟が必要である。</p>	<p>◎問題場面が抽象的になってくるため、なるべく普段の生活場面と身近な問題場面となるように工夫する。</p> <p>◎既習事項を活用できるように段階的な問題場面を設定する。</p> <p>◎学習用タブレット端末等を活用し、資料提示や操作活動、考え方の共有等を効果的に行う。</p> <p>◎ドリルやタブレット(eライブラリ)等を活用し、繰り返し学習することで習熟を図る。</p>
第6学年	<p>◎既習の考え方を活用できる復習などの課題の設定から導入することで、既習事項と関連付けて課題解決をすることができた。</p> <p>◎発問や課題提示の仕方を工夫することで、児童が意欲的に課題に取り組むことができた。</p> <p>◎小数や分数など、抽象的で非日常的な問題場面を工夫して提示する必要がある。</p>	<p>◎問題に対して課題意識をもち、前向きに取り組もうとしている。</p> <p>◎既習事項と関連付けて解決しようとしている。</p> <p>◎多様な考え方に対して、確認したり比較したりしながら、自分なりに捉えようとしている。</p> <p>◎小数や分数などの抽象的な数の計算力に個人差がある。</p>	<p>◎児童が課題意識をもてるような問題場面や設定を工夫する。</p> <p>◎新しい単元では既習事項を振り返りながら活用できるように授業を工夫する。</p> <p>◎学習用タブレット端末等を活用し、資料提示や操作活動、考え方の共有等を効果的に行う。</p> <p>◎ドリルやタブレット(eライブラリ)を活用して計算力の習熟を図る。</p>